

北海道建築士

HOKKAIDO KENCHIKUSHI 2013.12.No196

12月号

目次

第38回(一社)北海道建築士会
全道大会(恵庭大会)を終えて……1

特集 第38回一般社団法人北海道
建築士会全道大会(恵庭大会)……2

青年・女性の窓……6
[No.63 HOKKAIDO 建築士会 女性委員会]

トピックス……7

information……8

URL <http://www.h-ab.com/>



第38回(一社)北海道建築士会全道大会(恵庭大会)を終えて

第38回 一般社団法人北海道建築士会全道大会実行委員長

一般社団法人北海道建築士会恵庭支部 支部長 **水間 幸彦**

全道の34支部の有志会員を始め、青森・山形各県建築士会を含め多くの仲間が、ここ「花のまち 恵みの庭……」恵庭にお越しいただき、第38回全道大会は大なる成果を挙げ無事に終了しました。

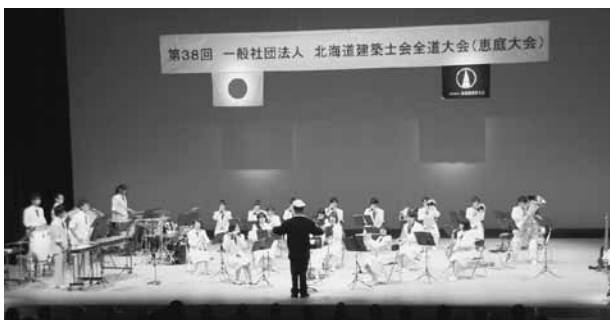
この大会をフォローしていただいた本部事務局や来賓の皆様、あるいは基調講演で市民参加してくれた皆様など、すべての方々に対して、恵庭支部を代表して、心から厚くお礼を申し上げます。

昨年の開催地決定以来、実行委員会を早くから立ち上げ、準備を通じて若い会員の積極的な参加と取組により「支部組織」を活性化させたことが今大会の成果であり、新たなる希望であったように思います。

加えて、“えにわ”らしさということから、大会テーマを「庭屋一如(ていおくいちによ)」として、自然との「共生」を改めて考える中で今一度、建築の

原点に立ち返り自然と向き合いながら、将来にわたって持続可能な建築についてそのあり方と実現の方法など、大いに語り合うことを大会の主題に捉えた盛んな研究交流や活発な議論などが「分科会」ごとに大いに展開され、再認識されたところであります。

今回、7年後に開催が決まった“東京オリンピック”招致活動で注目された「お・も・て・な・し」の精神で、前日の青年サミットから分科会・大会式典・基調講演・懇親会余興・二次会と続き、翌日の記念ゴルフ大会と最後の最後まで、恵庭支部会員が一丸となり務めさせて頂きましたが、皆様にとりまして思い出の『大会』になった事を信じて、全道に顕在する建築士の熱い友情と心温まる、ご支援に感謝申し上げます、お礼の言葉といたします。



大会式典 オープニングセレモニー(北海道恵庭北高等学校吹奏楽部)



大会式典 高野大会長挨拶



青年サミットの様子



基調講演 庭園デザイナー 石原 和幸氏



青年サミット会場 黄金ふれあいセンター

第38回一般社団法人北海道 建築士会全道大会 (恵庭大会)

大会テーマ:「庭屋一如(ていおく いちによ)」花のまち 恵みの庭で…
青年サミットテーマ:「未来につなげる まちなみづくり」
2013.9.20・21 恵庭市民会館・黄金ふれあいセンター



大会会場 恵庭市民会館



開会宣言



水間大会実行委員長 挨拶



高野大会長 挨拶



三井所日本建築士会連合会会長 祝辞



基調講演 講師:石原 和幸氏



青年サミット～ワークショップ



青年サミット～アンケート聴取



会長表彰 受賞者の方々



懇親会開会の鏡割り



懇親会



A分科会 (女性委員会)



B分科会 (まちづくり委員会)



懇親会 大抽選会



懇親会 余興



C分科会 (青年委員会)



D分科会 (情報委員会)



分科会報告



会長表彰



次期開催地アピール (旭川支部)



大会準備打ち合わせ

分科会報告

A分科会 素材～魅力的な庭と外構～恵庭編

女性委員会

旭川支部

齊藤 裕美



A分科会では、数年前から継続して「北海道の建築素材」を題材として、様々な勉強会、ワークショップを行って参りました。今回はガーデニングが盛んな恵庭市での開催という事で、外構、エクステリアで使用される「北海道産の材料」についてお二人の講師、ガーデンライフデザイナーの内倉真裕美氏と道産のエクステリア商品を販売されている(株)牧野の牧野

康則氏にお話して頂きました。内倉氏はよく使われる素材として江別産のレンガ、唐松の枕木、札幌軟石の紹介、そして恵庭をはじめとする道内各地のお庭の施工事例を失敗談を交えながら楽しくお話して頂きました。牧野氏は木材の性質に大変詳しく様々な研究をされており、腐食や割れの理由やウッドデッキの経年変化事例を解りやすく説明して頂きました。分科会参加者数は33名でした。

今回の分科会の前に午前中、希望者を募って実際に恵庭市内の住宅街へ足を運び3、4件ほどお庭

を拝見しました。花の時期はもうすでに終わっていましたが、建物と庭が一体となり本当に素晴らしいお庭ばかりでした。また訪問したどのお宅もご夫婦と一緒に庭作りに携わっている事にも感激いたしました。来年は花の綺麗な夏にぜひ訪問したいと思います。



B分科会 「まち ^{NIWA}庭. com」

まちづくり委員会

北見支部

島 柔美



B分科会は61名の参加を頂きました。

【まち「庭」. com】というテーマを設け、company（企業・会社）、community（地域共同体）がどのように「花のまちづくり」と関わっているかを探るため前半に30分の講演会、後半に「まちあるき」バス見学会を行いました。

分科会前半の講演は工場緑化に

積極的なサッポロビール北海道工場から副工場長中村真典（なかむら まさのり）氏をお招きし「緑あふれる工場へ～環境・地域との共生を目指して～」と題してサッポロビール北海道工場の庭園による工場緑化の取組みや環境への配慮と省エネ、地域雇用などについてもお話頂きました。

後半は恵庭市民会館を飛び出し「まちあるき」バス見学会へ。サッポロビール北海道工場の庭園や工場緑化を見学し時間の都合上、車窓からとなってしまいまし

たが「レンゴ」⇒「黄金ふれあいセンター」⇒「恵み野」⇒「道の駅」を見学しました。

恵庭市の「花のまちづくり」は市民だけではなく企業にも浸透して「まちと企業」「地域と企業」「企業と屋外環境」の構図を見学会を通して実感し、講演会では質疑応答の時間を設けたことで参加者の理解がより深まり、知ることができる分科会となりました。

青年サミット報告

青年サミット 「未来につなげる まちなみづくり」 ～わたしが市長になったら～

青年委員会

恵庭支部

石塚 尚也



青年サミットでは、今大会のメインテーマ「庭屋一如」（庭と建物の関係）を「まちなみと建物」と捉え、未来により良いまちなみを“残し・つなぐ”ために、今何をしなければならないか…みんなで話し合い、成果を見出すものとなりました。

具体的な内容としては、参加者自らが恵庭市内各所で「まちなみ」に関するアンケート調査を行い、

その結果を踏まえつつ、恵庭のまちなみについてのワークショップを行いました。そして、自分が恵庭市長になったらどうするか？という仮説をもとに、話し合いを進め、最終的な成果として「まちなみづくり三カ条」を制定しました。

このアンケート調査は、ワークショップのヒントとなるだけではなく、建築士会の市民へのPRという効果も期待していました。

ワークショップで制定された三カ条は、ユニークなものから現実的なものまで、様々な視点から考えられ、充実した内容であったと

ともに、アンケート調査では、短時間でありましたが、一般市民から200件もの貴重な回答をいただくことができ、今後につながる手ごたえを十分に感じ、更なる探究・考察を決意したところです。



分科会報告

C分科会 庭のある生活 — 人と家と庭のより良い関係 —

青年委員会

函館支部

工藤 誠



C分科会では、庭のある生活一人と家と庭のより良い関係—と題して、庭木など庭を構成する要素について学び、庭の配置図とも言える配植図を作成しました。

前半の講義部分では、私が講師として壇上に立ち、ガーデニングが盛んな街・恵庭の歴史とガーデニングが盛んになった経緯や、実際にある恵庭のガーデニングの写真を見ながら、それらの特徴を解

説しました。また実際に庭を設計する場合を想定して「現地調査・ヒアリング」「コンセプト決め」「プランニング・配植図の作成」という一連の流れを説明しました。その後、身近にありながらあまり知らない庭木の種類や特徴を解説し、ナナカマドは何故ナナカマドと名付けられたのか（答えは七度かまどに入れても燃えないくらい燃えにくいという事から）などの余談を交えながらの講義を行いました。

後半のワークショップでは、実際の施主との打ち合わせを想定し

た打合せシート・恵庭市に実在する敷地と建物を記した配置図・庭木の特徴を記した資料を元に、庭のコンセプトを決め、配植図とパースを作るという作業を行いました。配植図は繋げると一つの街並みになるという仕掛けもあり、成果品として公開したいと思います。

ワークショップは終始和やかな雰囲気で行われ、参加者51名が意見交換などを楽しみながら、今まであまり考えることが少なかった庭について色々と考えることができた分科会になりました。

D分科会 カンタン！つながる！34のわ in えにわ ～チャレンジ34支部のネットワーク～

情報委員会

十勝支部

神田 光英



D分科会では最初にパワーポイントを用いて「hab-net」の経緯、ホームページと支部の状況を説明致しました。支部の情報発信に関して述べますと、いままでにホームページを開設した支部は13支部あります。そのうち現在、更新されているのは5支部にとどまっております。又、定期的に支部情報紙を発行し、北海道建築士と同梱

しているのは6支部となっております。今回は、ブロック会も立ち上がり、支部の活性化を目指している事もあり、支部の情報発信について考えました。その中でも北海道建築士会のホームページを利用した情報発信、共有といった点に重点を置きワークショップを進めました。

支部NEWSを中心として、できる範囲で項目を増やしていくのが、更新を継続していける秘訣ではないのでしょうか。

又、人数の少ない支部では、担

当者の負担も大きく、支部通信（ニュース）、ホームページは難しいとの意見もありました。

支部の活性化には、情報の共有も必要であり、今後はHab-netの利用が不可欠ではないかと思われました。



全道大会実行委員会報告

第38回北海道建築士会全道大会(恵庭大会)実行委員会 “お・も・て・な・し” 恵庭大会を終えて・・・

恵庭支部 事務局次長

総務部長 伊藤 隆英



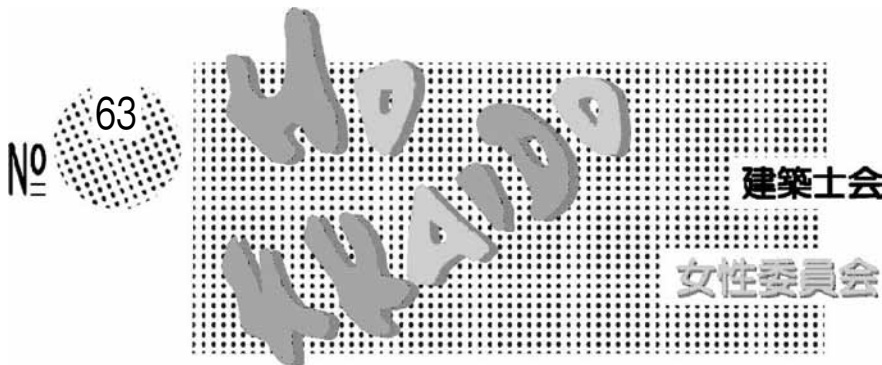
昨年の開催地決定以来、10月に実行委員会組織を立ち上げて、組織体制や業務分担などを決定。いよいよ実施に向けた具体的なタイムスケジュールや実施マニュアルなどを策定して、恵庭大会の「骨子」をまとめました。「部会」は、総務・財務・事業・懇親会広報・分科会・青年サミットの6部会で構成され、部会ごとに詳細な内容の検討などを行いました。

特に、大会テーマは、恵庭らしさにこだわり、今までの大会になり「庭屋一如(ていおくいちによ)」とし、ポスターのデザインにも広報部会が深く関わり作り上げたものです。

今回は、「一会場」ですべての行事を行うことから「市民会館」で開催しました。このことから、すべての会場のレイアウトから設営、会場看板まで、すべて事業部会の手づくりで製作・取付をしたものです。また、基調講演は、「花のまち恵庭」にふさわしい世界的に有名な「庭園デザイナー石原和

幸氏」に、一役員の人脈をお借りしてお願いすることができました。

なお、大会式典の「オープニングセレモニー」に恵庭北高吹奏楽部、懇親会余興にドラフターズ、ジャズバンド、地元ゆるキャラ、更には恵庭支部60名の実行委員の皆様、膨大な大会資料等を作成して下さいました「建築指導行政」担当の有志会員など多くの方々の絶大なるご支援とご協力によりまして、手づくりの“お・も・て・な・し” 恵庭大会が盛会裡に終了できましたことに心から感謝とお礼を申し上げます。



工業高校生とまちづくりワークショップ

旭川支部 米本 一恵

9月7日、昨年に引き続き旭川工業高校建築科の生徒とワークショップと交流会をおこないました。生徒18名、先生3名、女性委員会8名の参加。今回も建築士の仕事紹介とまちづくりワークショップの2部構成です。

前半は、生徒に歳の近い委員が、自分の仕事内容や勤務先の事務所の中をスライドを使って紹介したところ、たいへん興味を持って聴いてもらいました。

後半は、工業高校の向かいにある商業施設用地にあつたらいいなと思う建物を考えてもらい、ブロックで形にしてもらいます。学年をバラバラにして、四つのグループに別れ、始めはなかなか話が進みませんでした。自然に3年生が中心になり、まとめることができたと思います。スーパーや本屋、アミューズメント施設、公園や体育館、カフェ等いろいろ案が出ます。何故必要なのか。周囲の環境との関係。話し合ったことを提案シートに書き込み何を作るかを決め、ブロックで形にする作業をします。各グループに委員が入って、アドバイス等をしました。



最後に、各委員の仕事や思いを述べさせてもらい、生徒からの質問に答えて、3時間弱の時間を終えました。

全員がアンケートに答えてくれて、「楽しかった」「違う学年と話し合いをするのはよかった」「ワークショップは達成感があつた」「委員の話は参考になった」「自分も頑張りたい」「来年も参加したい」等、感想をもらいました。

次回もみなさんの期待に添えるような企画を考えたいと思いますし、継続していきたい活動です。



全国大会 しまね大会報告

小樽支部 本間 恵美

10月19日(土) 連合会女性委員会担当の交流セッション②「高齢者・障害者の住宅改修において建築士としてできること」の運営に東道尾さんと共に参加しました。国交省提出の報告書の概要報告と3名の事例報告者によるパネルディスカッションが行われました。



女性建築士の集い報告

札幌支部 鈴木 彩恵

避難所運営ゲーム『HUG』研修会に参加しました。

●真冬の早朝、巨大地震に襲われた札幌。避難所となった学校に被災した人達が続々集まってくる。町内会の役員の私たちは、その避難所の運営をする事になってしまった…

●この設定で、29名が5班に分かれてゲーム開始です。

避難してくる人達は当然ながら様々な状況で、その一つひとつが難題になっていきます。トイレが使えない…。子供が発熱を…。ご飯が…。水が…。動物が…。参加者はそれぞれ混乱しながらも意見を出し合い、妥協し、決断し、次々降りかかる状況に対応していきます。



へとへとになったお昼休憩には、保存食を提供して頂きました。水を入れると五目御飯が出来るアルファ米とパンの缶詰。7年保存が可能なフリーズドライビスケット。どれもとても美味しくいただきました。午後も頭フル回転でゲームは続きましたが、最後に班で意見をまとめる時に、最近の学校のインフラ状況とか避難所を想定した場合の学校設計などと雑談が多岐にわたり、この避難訓練ゲームは、設計するかもしれないので疑似体験しておこう…という意味もあったのかもしれない、と思いました。意見交換や雑談がとても有意義で楽しい時間でした。

企画開催していただいた女性委員会の皆様ありがとうございました。またよろしくお願ひします♡

笠原元会長 平成25年秋の叙勲受章

元社団法人北海道建築士会会長 笠原成雄氏（82歳）は、平成25年秋の叙勲で建築設計監理業振興功勞により旭日双光章を受章しました。笠原元会長の建築士会活動等が評価されての受章で、たいへん喜ばしくお祝い申し上げます。今回の受章を記念して、12月6日に有志により祝賀会が開催されます。

〈功績内容〉 昭和50年以来、27年間にわたり、(社)北海道建築士会の種々の要職を務め、公共福祉の増進と建築文化の進展に尽力し、建築士受験者講習会の講師を長年勤めるなど建築業界の技術の発展と資質の向上に大きく貢献した。

あなたはお済ですか！ カード型免許証明書への切替え

日本建築士会連合会及び建築士会は、第55回全国大会「茨城大会」でカード型免許証明書への切替え促進を機関決定しております。

昨年発覚した建築士なりすましについて、私たち建築士は見過ごす訳にはいきません。私たち自らが建築士であることを証明する必要があります。それにはカード型免許証明書が簡便で有効になります。現在まで北海道では、1,106名の方がカード型免許証明書に切替えています。まだまだ少ない切替えですが、会員の皆様のご理解を頂き促進の更なる拡大を図る必要があります。消費者団体との意見交換でも、免許証と免許証明書の二つあることは分かりづらく、カード型免許証明書一つにするほうが望ましい、とのご指摘を頂いております。

交付申請書は本会HPの免許書換え交付申請（携帯型免許への変更）からダウンロードしてご使用下さい。申請手数料は5,900円かかります。

本年の全国大会挨拶及び大会宣言で、関連するところを抜粋して掲載致します。

〈第56回全国大会三井所連合会会長挨拶抜粋〉

一級建築士資格者は平成20年以降、新しく建築士になる者には、顔写真入り携帯型の免許証明書を交付しています。旧来の免許証から免許証明書に切り替えた狙いは、建築士による重要事項説明の際の本人確認の簡便さにあると考えます。

現在の一級建築士名簿には既に死亡したと思われる多くの方が登録されたままとなっています。名簿の適正化が登録機関であります本会の大きな課題です。また、昨年発覚した建築士なりすまし事案は、

本年も発生しています。本会としては、免許証明書に有効期間を設け更新制とし、併せてインターネット上で最新で的確な情報を公開することが消費者の保護に資することになるとの観点から、関係団体と連携し、所要の法改正等を求めて参りたいと考えます。

〈第56回全国大会「しまね大会」大会宣言抜粋〉

我々建築士会の活動は、常にその軸足を地域に置き、地域住民等とともに地域の暮らしに適う建物やまちづくりを実現していく、地域実践活動にある。

一方、昨年来、免許証の写し等による建築士なりすまし事案が頻発している。これを防止するためには、建築士名簿を適正化し、消費者や社会に対し、建築士資格等に係る最新情報を的確に開示することが重要である。

そこで、インターネットや顔写真入り携帯型の免許証明書により、資格等に関する最新の情報開示を行うこととし、このため、免許証から免許証明書への変更と、免許証明書への有効期間の設定など、必要な制度改革のための建築士法改正を目指すこととしている。



CPD認定プログラム（11月認定）

- ◆第47回建築基準法講習会
 《日程及び会場》平成26年1月14日(火)～2月7日(金)
 10:30～16:00
 北海道第2水産ビル(札幌市)
 他18会場
 《単位数》4単位
 《問合せ先》(一社)北海道建築士会
 TEL 011-251-6076
 ※詳細は、同封の講習案内をご覧ください。
- ◆建設工事に伴う労働災害・交通事故防止講習会
 《日程及び会場》平成25年12月4日(水)
 13:30～17:00
 北海道建設会館(札幌市)
 《単位数》3単位
 《問合せ先》(一社)日本建設業連合会
 北海道支部 TEL 011-261-6245
- ◆建設工事に伴う労働災害・地下埋設物事故防止講習会
 《日程及び会場》平成25年12月17日(火)
 13:30～17:00
 北海道建設会館(札幌市)
 《単位数》3単位
 《問合せ先》(一社)日本建設業連合会
 北海道支部 TEL 011-261-6245
- ◆日本のまちづくりが中東ヨルダンへ!?
 《日程及び会場》平成25年12月12日(木)
 18:30～20:30
 かでる2.7(札幌市)
 《単位数》2単位
 《問合せ先》(一社)北海道建築士会札幌支部
 TEL 011-232-1843

道士会の動き

道本部の主な会議報告

- ◆第4回情報委員会 (開催日) 11月9日(土)
 1) 会誌年間スケジュールについて
 2) 会員作品展について
- ◆第4回女性委員会小委員会 (開催日) 11月16日(土)
 1) 平成26年度の事業計画と予算について
 2) 平成26年度女性委員会委員改正について
- ◆第2回青年委員会WEB会議 (開催日) 11月16日(土)
 1) 平成25年度事業報告
 2) 平成26年度事業計画案・予算案について
- ◆第4回総務委員会 (開催日) 11月23日(土)
 1) 平成26年度総務委員会事業計画及び予算
 2) 第39回全道大会(旭川大会)について
- ◆第4回まちづくり委員会 (開催日) 11月30日(土)
 1) 平成26年度事業計画・予算について
 2) 景観整備機構セミナー報告・来年度について

編集後記

今年のカレンダーも最後の一枚となりました。あっという間の一年でした。皆様にとってはどのような一年でしたでしょうか。さて今月は9月に行われた全道大会(恵庭大会)の特集を組んでおります。おもてなしの精神で開催された大会風景をご一読下さい。又、カード型免許証明書への切替えについて掲載しています。是非この機会にご検討下さい。最後に情報委員会では皆様に楽しみにして頂ける誌面創りを目指しています。ご意見ご要望をお聞かせ下さい。 情報委員会 神田 光英

道本部の主な行事予定（12月）

- 6日 第5回理事会
 第6回地域貢献活動センター委員会
 第3回ヘリテージマネージャー特別委員会
- 14日 第3回青年委員会
- 21日 第4回女性委員会

関係機関等会議出席状況（12月）

- 2日 建築CPD運営会議(東京) 高野会長出席
- 19日20日 建設系CPDシンポジウム(東京) 高野会長出席

平成26年度 専攻建築士登録申請受付のご案内

? 専攻建築士になるには・・・(新規認定の要件)

- ・「CPD」を行っており、過去1年間(平成25年1月～12月)に12単位を取得している
- ・建築士資格取得後の専攻領域の実務経歴年数が5年以上ある
- ・「当該領域の責任ある立場での実務実績」(要第三者による証明)が3件以上ある
 ※構造設計・法令専攻建築士は、一級建築士を要件としております。

◆専攻建築士認定申請について

- 《受付期間》平成26年1月6日～1月31日(当日消印有効)
- 《申請書》北海道建築士会HPよりダウンロードできます。
- 《申込》申請手数料(審査手数料・登録料)の振込控えを申請書に添付して北海道建築士会へお申込みください。

◆専攻建築士更新認定申請について

平成21年3月24日認定(有効期限 平成26年3月31日)の専攻建築士の方が対象です。既に、対象のみなさまへは、更新申請についての案内を送付しております。該当の方で届いていない方がいらっしゃいましたら本部事務局までご連絡ください。(011-251-6076)

～「専攻建築士制度」とは、消費者に対して専門家として社会に責任の取りうる業務領域(専攻専門領域)を認定・登録し社会に示す制度です。

*詳細はHPをご覧ください。(http://www.h-ab.com/)

情報委員会委員長/岡田 隆
 副委員長/三浦 浩・天城 秀典・神田 光英
 委員/森田ゆう子・岡田 光弘・山下 聡
 用田 史門・高松 徹・道塚 勉

北海道建築士 No.196号

印刷 平成25年11月/発行 平成25年12月

編集・発行 一般社団法人 北海道建築士会
 〒060-0042 札幌市中央区大通西5丁目11番地
 大五ビル
 電話 (011)251-6076番
 URL http://www.h-ab.com/

印刷 株式会社 正文舎
 〒003-0802 札幌市白石区菊水2条1丁目
 電話 (011)811-7151番